

平成 30 年 6 月 15 日現在

機関番号：13401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370763

研究課題名(和文) 越前朝倉氏関係文書および一乗谷周辺村落に関する総合的研究

研究課題名(英文) Documents relating to the Echizen Asakura clan and comprehensive research concerning villages in the vicinity of Ichijodani

研究代表者

長谷川 裕子 (YASUKO, HASEGAWA)

福井大学・学術研究院教育・人文社会系部門(教員養成)・准教授

研究者番号：20635122

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、越前の戦国大名朝倉氏五代の当主と一族、および家臣の発給・受給文書を蒐集し、朝倉氏関係文書目録を作成した。また、朝倉氏の本拠地である一乗谷の周辺村落において現地調査を実施し、同時代の文書や近世の地誌に記載された朝倉氏関係遺跡や地名、および石造物の所在を確認した。本研究によって、一乗谷周辺村落に現在までに伝わっている伝承を記録し、また朝倉氏関係文書集の編纂に必要な文書目録を完成させることが可能となった。

研究成果の概要(英文)：For this study, I gathered documents issued and received by the daimyo of the Asakura and five generations of the clan and their vassals from the Warring States Period. From this, I prepared a catalog of documents relating to the Asakura. Furthermore, I conducted field surveys at villages in the vicinity of Ichijodani, the home of the Asakura, and verified clan relics, place names, and the whereabouts of stonework described in documents of that period and modern topography. Consequently, it was possible to record traditions that have been preserved in Ichijodani until today and to complete a catalog of documents relating to the Asakura clan.

研究分野：日本中世史

キーワード：日本中世史 戦国大名 朝倉氏 一乗谷 越前 地域史 村研究

1. 研究開始当初の背景

(1) 現在、戦国期権力の形成過程とその権力構造を、各個別戦国大名ごとに解明していくことが喫緊の課題となっているが、関東や西国の戦国期権力研究が進展する一方で、畿内近国については、戦国期研究自体が低調であり、本格的な戦国大名研究が進展していない状況にある。それは越前国(福井県)においても同様である。越前国の戦国期権力に関する研究は、戦国大名朝倉氏に関する研究が積み重ねられてきたが、時代的・分野的な面で部分的な個別研究にとどまっており、戦国朝倉氏権力全体を見据えた権力的特質や朝倉氏権力の形成過程について、体系的な研究がなされているとはいえない。

(2) 1967年以降、一乗谷遺跡に対する本格的な整備事業が開始され、考古資料・文献資料の双方を用いた一乗谷の城郭研究が進められているが、こうした取り組みも、基本的には「城戸ノ内」地区にはほぼ限られており、その周辺地域には及んでいないため、戦国大名の性格を究明する上で重要となる、領内村落と朝倉氏との関係解明はいまだ果たされていない。

(3) 朝倉氏研究にとっては、関係資料の網羅的収集に基づいた基礎的研究が不可欠となるが、現在、朝倉氏関係史料として一括された史料集が作られていないことが、研究の進展にとって大きな障壁となっている。しかも、自治体史や史料集によって朝倉氏関係史料すべてが網羅されているわけではなく、未刊史料も残されている。

2. 研究の目的

(1) 戦国大名朝倉氏の発給・受給文書、および朝倉氏一族・家臣の発給・受給文書を網羅的に蒐集し、年代比定などを含めた基礎的検討を行った上で総編年文書集を作成する。

(2) これまでほとんど調査されてこなかった一乗谷遺跡周辺村落に関する現地調査を実施し、古文書にみえる地名や村の由緒に関する聞き取り調査と、現存する石造物の銘文調査を行う。

(3) 従来網羅されていなかった朝倉氏関係史料を一括し、研究・検索の便宜をはかるとともに、文書の花押形や筆跡の照合に関する分析を通じて朝倉氏研究の基礎的研究を推進する。同時に、一乗谷遺跡に関する先行研究をふまえて、周辺村落調査の成果を総合することで、一乗谷を中核とした朝倉氏権力の特質について解明する。

3. 研究の方法

(1) 史料蒐集の対象時期を、朝倉氏が戦国大名としてのあゆみをはじめた長禄元年(1457)から、朝倉氏が滅亡した天正元年

(1573)までとし、これらを、『福井県史』などの自治体史や『大日本史料』『大日本古文書』などの編年・個別史料集をもとに検出する。また、未刊史料については、東京大学史料編纂所や国立公文書館などの史料・写本所蔵機関において閲覧・撮影による蒐集を進め、できる限り写真版を入手し、総編年文書集を作成する。

(2) 一乗谷周辺村落に関する現地調査を実施する。一乗谷の遺跡保存地区においては、地域景観や地名に関する基礎的調査は行われているため、それを一乗谷周辺村落まで拡大し、明治期の地籍図をもとに景観復元と地名調査、および現存する石造物調査を行う。

(3) 朝倉氏研究文献を蒐集し、朝倉氏研究にとって重要なもの、また入手困難なものを中心に、朝倉氏研究文献集を作成する。それをもとに、蒐集文書の分析を通じた基礎的事実の整理を行う。史料蒐集と写真版の蒐集に基づき、筆跡や花押形による年代比定や発給者の特定を行うことで、朝倉氏の文書発給過程や権力編成について解明する。

(4) 以上の調査・研究を通じて、文書分析と地域調査の両面から、朝倉氏の権力構造に関する研究の推進を図る。

4. 研究成果

(1) 一乗谷周辺村落調査については、4年間で実施した21地区の調査において得られた伝承・地名・石造物の情報の概要をまとめて一冊の報告書を作成し、県内の諸機関や各地区での調査協力者に配布した。調査を通じて、古文書や地誌類に記載された館跡や湊の位置、さらには各地区の一乗谷および朝倉氏との関係について、少ない情報ながら解明・推測できた成果もあった。特に石造物については、これまで未調査の朝倉氏時代の石仏や一石五輪塔などが数多く発見された。

(2) 朝倉氏関係文書調査については、各種自治体史や史料集、および東京大学史料編纂所蔵・架蔵の写真帳・影写本・謄写本からの史料蒐集と、国立公文書館・金沢市立玉川図書館をはじめとした各文書所蔵機関や寺院・個人への調査による撮影史料をもとに、朝倉氏関係文書目録を作成した。また、今後の史料集編纂に向けて、文書一点毎の史料カードを作成した。

(3) 朝倉氏関係文書の分析については、朝倉氏関係の研究文献を参照し、未年号文書についてはできる限りの年代比定を行った。しかし、すべての文書についての分析を終えていないため、今後の引き続きの課題となっている。

(4) 一乗谷周辺村落調査によって確認された

石造物については、今後一点ごとの詳細なデータを採り、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館のホームページ上で公開している「石造物検索システム」に随時情報を更新していく予定である。

(5)本研究で作成した朝倉氏関係文書目録および史料カードをもとに、朝倉氏関係文書史料集を作成する予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

長谷川裕子、越前の「領」にみる越前松平氏の領国支配構造、歴史研究の最前線、査読無、2017、pp.29-52

長谷川裕子、中近世移行期における土豪の機能とその変化 軍事・外交機能の消失と村役負担の観点から、人民の歴史学、査読無、209号、2016、pp.1-14

長谷川裕子、越前朝倉氏にみる戦国武将の自他認識 『朝倉宗滴話記』が語る戦国社会、戦国史研究、査読有、70号、2015、pp.2-16

長谷川裕子、「モノのもどり」をめぐる日本中・近世史研究、歴史評論、査読無、779号、2015、pp.18-31
<http://hdl.handle.net/10098/9494>

〔学会発表〕(計1件)

長谷川裕子、中近世移行期における土豪の機能とその変化 軍事・外交機能の消失と村役負担の観点から、東京歴史科学研究会、2016

〔図書〕(計3件)

長谷川裕子、岩波書店、歴史を学ぶ人々のために 現在をどう生きるか、2017、pp.147-163

長谷川裕子、岩田書院、戦国期の地域社会と惣国一揆、2016、368

長谷川裕子、竹林舎、生活と文化の歴史学第五巻戦争と平和、2016、pp.196-217

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：

番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

長谷川裕子、平成26年度～29年度科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)研究成果報告書、越前朝倉氏関係文書および一乗谷周辺村落に関する総合的研究、2018、35

6. 研究組織

(1)研究代表者

長谷川 裕子 (HASEGAWA, Yasuko)
福井大学・学術研究院教育・人文社会系部門(教員養成領域)・准教授
研究者番号： 20635122

(2)研究分担者

()

研究者番号：

(3)連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者

池上 裕子 (IKEGAMI, Hi-roko)
成蹊大学・名誉教授

石川 美咲 (ISHIKAWA, Misaki)
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・学芸員

伊藤 瑠美 (ITO, Rumi)
長岡技術科学大学・新潟県立大学・非常勤講師

大河内 勇介 (OKOUCHI, Yusuke)
福井県観光営業部文化振興課・主任

太田 まり子 (OTA, Mariko)
東京大学史料編纂所・研究支援推進員

角 明浩 (KADO, Akihiro)

坂井市みくに龍翔館・学芸員

木下 聡 (KINOSHITA, Satoshi)
東京大学大学院人文社会系研究科・文学
部・助教

九千房 英之 (KUSENBOU, Hideyuki)
あわら市郷土歴史資料館・学芸員

佐藤 圭 (SATO, Kei)
元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・文献
専門調査員

柴 裕之 (SHIBA, Hiroyuki)
東洋大学文学部・非常勤講師

藤田 若菜 (FUJITA, Wakana)
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・文化財
調査員

水野 和雄 (MIZUNO, Kazuo)
元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・館長

宮永 一美 (MIYANAGA, Kazumi)
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館・主任

村井 祐樹 (MURAI, Yuki)
東京大学史料編纂所・助教